

一般質問

町政を問う

今回7名が質問し、
その要約を掲載しました。

金 長 秀 範 議員 …………… 15

1. 「道の駅かつら」について
2. 「ふるさと納税」について
3. 「うぐいすの里」について
4. 「桂図書館・城里町役場庁舎有効利用」について
5. 「町の広報・プロモーション活動・メディア戦略」について
6. 「新観光拠点創出・誘客プロジェクト構想」について
7. 「新お祭りイベント創設」について
8. 「新乾杯条例制定」について

飯 村 栄 議員 …………… 16

1. 環境センター及び3R(減らす、繰り返し、再資源化する)の現状について
2. 学び直し(リスキリング)生涯学習について
3. 災害対策について(衣食住)

綿 引 静 男 議員 …………… 17

1. 城里町の将来について
2. 原子力災害広域避難計画について
3. 中学校部活動の地域移行について

高 橋 裕 子 議員 …………… 18

1. 子育て支援として
2. 学童支援として
3. ホールの湯入湯税について

藤 咲 芙 美 子 議員 …………… 19

1. 国民健康保険税の子育て支援について
2. 会計年度任用職員について
3. 災害時の避難について

桜 井 和 子 議員 …………… 20

1. 子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種について
2. 1ヶ月健診と5歳児健診について
3. 英語検定試験の取り組みについて

加 藤 木 直 議員 …………… 21

1. 災害時の対応について
2. 開発公社全般について

☐次ページからの、顔写真下のQRコードをスマートフォンなどで読み込むと、一般質問時の動画が視聴できます。



🌸「町政を問う」の掲載記事は、質問者本人の寄稿によるものです。



かねなが ひでのり 議員
金長 秀範

「道の駅かつら」について



こちらから
動画が視聴できます

《町長》観覧車は二期工事でチャレンジしていきたい

金長 道の駅しるさと（旧道の駅かつら）名称変更・ステージ併設の大型モニター設置・観覧車を提案。

町長 事業は順調に進捗。二階のテラスにイベントスペースを設けた。観覧車は二期工事でチャレンジしていきたい。

「ふるさと納税」について

《町長》2年間で16倍まで伸ばした

金長 早急にふるさと納税プロジェクトチームを立ち上げ、寄附額獲得に向けた具体的な方法を探案。

町長 急速に体制を整備し2年間で16倍まで伸ばした。城里町として一つずつ健全なやり方で積み上げていきたい。

「つぐいすの里」について

《町長》タイケン学園グループと連携協定を結んだ

金長 この町が抱える様々な課題を解決する観点から大衆誘致、城里キャンパスプロジェクトチーム設立を提案。

町長 タイケン学園グループと連携協定を結んだ。英会話教育用ロボット51基を町に寄贈して頂き、野球部の活動を支援する拠点として現在調整している。

「桂図書館・城里町役場庁舎有効利用」について

《町長》桂図書館二階にカフェ設置を実現に向け指示する

金長 桂図書館と役場庁舎1階吹き抜

け部分に、公営の「しるさとカフェ」を造る事を提案。

町長 支所機能を桂公民館に移設後、桂図書館二階にカフェ設置を実現に向け指示する。本庁舎中庭吹き抜け部分は、基本計画・基本設計費を計上した。

「町の広報・プロモーション活動・メディア戦略」について

《町長》様々な媒体で広報を行ってまいりたい

金長 現在はSNS全盛の時代。スピーディーな情報発信は町の大切な業務の1つ。10個に纏めて具体的に提案。

町長 管理がしやすく更新が行き届くようアカウントを整理。様々な媒体で広報を行ってまいりたい。

「新観光拠点創出・誘客プロジェクト構想」について

《町長》赤沢富士周辺の整備を重点的に行う

金長 しるさと里山連山・ロマンチックアルプス（仮称）及びサイクリングコースの整備を提案。

町長 県と連携しながら、最初の目標として展望ベンチか展望台を造るなど、赤沢富士周辺の整備を重点的に行う。

「新お祭りイベント創設」について

《町長》イベント補助金を出している

金長 必ずペアになりデュエットを組んでもらう【しるさと紅白歌合戦】開催

を提案。

町長 地域を盛り上げたりする団体に対してイベント補助金を出している。第2回公募を春先に行うのでぜひ応募して頂きたい。

「新乾杯条例制定」について

《町長》職員参加の歓送迎会でも準備を進めている

金長 城里町初の試みとして、しるさと古内茶乾杯条例（通称お茶で乾杯条例・緑茶で乾杯条例）を提案。

町長 今議会、城里町のお茶で乾杯するという条例を提案した。新年会でも好評で、4月の全職員参加の歓送迎会でも準備を進めている。

環境センター及び3R（減らす、繰り返し、再資源化する）の現状について



飯村 栄 議員



こちらから
動画が視聴できます

《町民課長》 広報紙、ホームページ等で徹底周知していきたい

飯村 リデュース、ごみを減らす、リユース、再利用、リサイクル、廃棄物等の原材料やエネルギーとしての有効利用について尋ねる。

町民課長 減らす、廃棄物等の有効利用については、町民の方には広報紙、ホームページ等で徹底周知していきたい。ごみ収集した物の再利用、再生については、周りの市町村の状況を鑑みて検討したい。

飯村 おむつの再利用、再資源化について聞く。

町長 紙おむつのリサイクルについては、リサイクル工場建設には大きな金額が必要になるので、幾つかの市町村で協議、検討できればと思う。

学び直し（リスキリング）生涯学習について

《教育長》 公民館講座の充実を図りたい

飯村 職員の方に対する学び直しの機会、例えばAIに対する仕事の効率化についての町の取り組みを伺う。

町長 職員がAIなど最先端のことも学び、研修を通じて知識をつけ、質の高い行政運営をしていくことは大変重要だと考える。

飯村 一般町民の方に対する生涯学習について伺う。

教育長 デジタル弱者の方々を減らすなど、一層公民館講座の充実を図りたい。



災害対策について（衣食住）

《町長》

空調設備設計の際、考慮に入れた

飯村 単一のエネルギーに依存する危険を避ける為にも、LPガスは発電機や暖房、調理器具など、対応する設備も多様であり、保存しても劣化しない。非常時に備えて、避難所にも指定されている、公民館、小・中学校体育館にLPガス利用の冷暖房を提案する。

町長 ガス式の空調システムは保存もきき、停電にも強く、有効な方法なので、空調設備設計の際、考慮に入れた

飯村 最後に、男性では気づかない、女性目線に立って、備蓄品、備蓄食料を備えていただき、プライベートを守る観点からも、簡易テナなども考えていただきたい。

総務課長 パーティションは、300ほど用意している。今後は簡易テナも含め、整備、備蓄を検討したい。



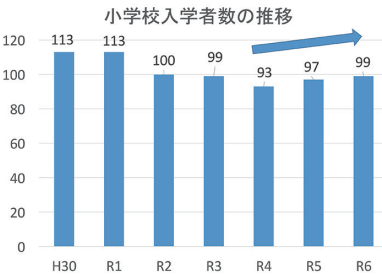
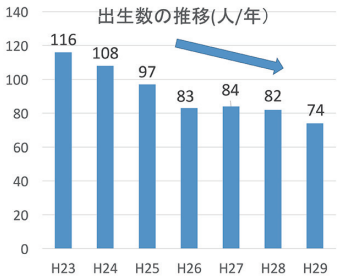
わたひき しずお 議員
綿引 静男

城里町の将来について



こちらから
動画が視聴できます

《町長》不安なく公共サービスを受けられる町にしたい



綿引 町の人口が減少することにより、税収が減少すると考えられるが、現状はどのようなものか。また、今後の町の人口や経済の見通しについてどのようになっているか。保育料の無料化や給食費の無償化などの子育て支援策を講じてきたが、その効果についてどのようになっているか。

町長 人口は減少傾向にあるが経済活動の規模は減少しておらず、税収も維持できている。山桜の売上は2倍近くに伸びているため、努力次第で売上を伸ばすことはできる。出生数は減少傾向にあるが、小学校の入学人数は近年増加傾向である。小学校の入学までに転入してくる人数の増加が出生数の減少を補っている。転入の増加は子育て支援策の結果だと推察される。

綿引 町では、原子力災害広域避難計画について、《町長》でできるだけ早い段階で実効性のある計画策定を進めたい。

綿引 町では、原子力災害が発生したときに、町民が身を守るためにとるべき行動や避難先となる栃木県内5町の避難所マップを令和2年に公表した。今後は町として実効性ある避難計画の策定が必要となるが、現在の進捗状況は。

町長 現時点では避難計画の確定に至っていない。できるだけ早い段階で実効性のある避難計画策定を進めていきたい。

綿引 部活動の地域移行とはどのようなものか。

教育長 部活動を学校教育から切り離し、社会教育の一環として地域の団体や人材によって運営されて指導が行われ地域クラブへと移行する。

綿引 部活動地域移行が必要な理由は何ですか。

教育長 少子化による児童・生徒数の減少に伴う部員数の減少と、教職員の働き方改革の推進が大きな要因。

綿引 現在の部活動地域移行の取組状況と今後の課題は。

教育長 令和4年に地域クラブ活動推進協議会を設置して地域移行のための全体的な方向性やプロセス等を検討し、段階的に作業を進めている。

綿引 現在の部活動地域移行の取組状況と今後の課題は。

教育長 令和4年に地域クラブ活動推進協議会を設置して地域移行のための全体的な方向性やプロセス等を検討し、段階的に作業を進めている。

綿引 子供たちの貴重な中学3年間で有意義になるような部活動のあり方を皆で真剣に考える必要があると思う。

子育て支援として

《町長》安心して出産できる環境を整備していききたい



たかはし ゆうこ 議員
高橋 裕子



こちらから動画が視聴できます



(1) 保育料無償化について
高橋 予算に取り込まれたが説明を求めると。
町長 元々、公約にしてきた。0歳から所得制限、人数制限など関係なく無償化をきっかけとして城里町で子育てしたい方が増えることを期待している。
高橋 個人事業主の方は、育休中に収入がなくなる為、産む事さえ躊躇する話がある。予算が通る事を期待している。

(2) 在宅育児支援について
高橋 在宅育児する方への支援を伺う。
町長 保育所に預けず自宅で保育する方へも手厚く支援する姿勢を示し、子育て世代が流入し、安心して出産できる環境を整備していきたい。
高橋 子育て支援の充実をアピールして盛り上げて頂きたい。

児童支援として

《町長》速やかに設計、建設を進めて参りたい

(1) ひとり親家庭の学童料金無償化について
高橋 経済的にぎりぎりだと相談があったが、町長の意見を伺う。
町長 二人目以降の減免を提案している。ひとり親家庭の苦労に鑑みて検討していく。
(2) 365日運営について
高橋 サービス業を始めとし土日祝働く家庭への預ける場所の提供は出来ないか。
町長 指導員の確保が課題である。各学童クラブと調整、話し合いを持つ。
(3) 桂小学童クラブ建設について
高橋 少子化とはいえ、働く家庭は増えていく。来年度は、10人増えるが町長の意見を求める。
町長 設計費を予算に計上した。速やかに設計、建設を進めて参りたい。

ホロルの湯入湯税について

《町長》条例が変われば、計算事務、確認事務がなくなる

(1) 入湯税について
高橋 千円以下の料金で入湯税を取らない市町村がある。取らなければ、補填する金額も少なくなり、ヒューマンエラーもなくなるのではないか。
町長 条例が変われば、計算事務、確認事務がなくなり、効率化の観点からも大変助かる。
(2) 今後の展開について
高橋 清潔には保たれているが、外装、屋根など疲れが見える。今後のビジョンを伺う。
町長 長寿命化計画に基づく大規模修繕は必須と考えている。繁盛している温泉。浴施設など確認して、グレードアップする様な改修をしたと考えている。



ふじさく ふみこ 議員
藤咲 芙美子

国民健康保険税の子育て支援について



こちらから動画が視聴できます

《町長》 前向きに考えていきたい

藤咲 国保税の均等割は、生まれてすぐの赤ちゃんにも同じ金額がかかり、子どもが多くなればなるほど負担が重くなる。県内44市町村のうち、減免を行っていない5つの自治体に、城里町が入っている。子育て支援を標榜する町としては矛盾だ。18歳までの均等割の減免を求め

る。
健康保険課長 政策的な事業であり検討する。

藤咲 18歳以下、町が全額負担しても420万円。町の国保基金は9億3千万円であるから十分に基金で賄えるはずだ。
町長 前向きに考えていきたい。

会計年度任用職員について

《総務課長》有資格者については単価を高め設定している

藤咲 会計年度任用職員数は、全体の職員の約半数だ。町民の方が心通う住民サービスを受け、心豊かに生活できる環境のためにも会計年度任用職員の待遇改善を図る必要がある。

令和5年3月、5月、6月の総務省の通知では、新たに勤め、給料、報酬、期末手当を抑制してはならないと記されている。令和5年の4月からの遡及と、通知の通り実行を求め

災害時の避難について

《総務課長》計画は策定段階である

藤咲 避難計画について障害者、高齢者、妊婦さんなど特に配慮が必要だ。どのように周知を考えているか。
総務課長 福祉避難所など指定の協力を得ている施設がある。

藤咲 保健師や看護師などの専門職には安定した雇用が求められる。現状にあ

藤咲 保健師や看護師などの専門職には安定した雇用が求められる。現状にあ

藤咲 正職員と会計年度の比較を問う。

総務課長 会計年度任用職員は、雇用期間があり、給与、待遇等条例で定め差はある。男女差や健康保険、健康診断の項目についての差はない。
藤咲 年度ごとの更新では雇用が不安定だ。



子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種について



さくらい かずこ 議員
桜井 和子

《健康保険課長》勧奨通知を送付予定である



こちらから動画が視聴できます

桜井 定期接種が中断され、接種の機会を逃した子宮頸がんキャッチアップ接種の対象者は何人いるのか。

健康保険課長 本年1月現在461名となっている。

桜井 接種を開始した人は何名か。

健康保険課長 61名接種している。接種率は13.4%と低い状況にある。

桜井 低い理由としてどの様なことが考えられるか。

健康保険課長 健康被害の影響や難しい年代での接種となるため、親子間での共通理解が難しいと考えられる。

桜井 国は安全性を検証し、万が一に備え、相談体制も整えている。命を守るため接種してもらいたい。公費接種は、来年3月までとなつ

ている。対象者に個別通知はいつ送付するのか。

健康保険課長 6年度初めには勧奨通知を送付予定である。

1ヶ月健診と5歳児健診について

《健康保険課長》1ヶ月健診は実施する方向。5歳児健診は人材確保が難しく実施は考えていない

桜井 乳幼児に対してどの様な健診を実施しているのか。

健康保険課長 ゼロ歳児は個別健診2回、3ヶ月から6ヶ月健診、9ヶ月から11ヶ月健診、1歳半、3歳児健診を実施している。

桜井 今後1ヶ月健診を行う予定はあるか。

健康保険課長 令和6年度から実施する方向で調整していく。

桜井 5歳児健診の実施についてはどうか。

健康保険課長 環境整備と児童の発達に精通した人材確保が難しいため実施は考えていない。

桜井 5歳児健診に代わる事業は実施しているのか。

健康保険課長 年2回、教育委員会・臨床発達心理士や保健師で町内のこども園に出向き、気になる子の対応や発達相談を行っている。

英語検定試験の取り組みについて

《教育長》

補助金を増やすことを検討していく

桜井 中学生の英語検定試験の受験者は何名か。

教育委員会事務局長 43名が、5級から準2級の受験をした。

桜井 取得率はどのくらいか。

教育委員会事務局長 17.1%となっている。

桜井 検定試験に補助はあるのか。

教育委員会事務局長 年度内1,000円の補助を行っている。

桜井 受験料はいくらか。

教育長 5級2,500円、4級2,900円、3級5,000円、準2級が、6,100円となっている。

桜井 受験料が高く受験するのも容易ではない。補助制度を見直す考えはあるか。

教育長 補助金を増やすことを検討していく。





かとうぎ 加藤木 直 議員

災害時の対応について



こちらから
動画が視聴できます

《町長》 自助、共助、公助の順番で対応を

加藤木 いざ災害の時、町民は何を頼りにすればいいのか。
町長 自助、共助、公助の順番で対応を。それでも難しくれば自衛隊など外部機関に頼ることになる。

加藤木 自助、共助、公助はわかるが地域のような実態を知っているのは消防団ではないか。
今定例会に消防団員の定数150名削減の条例改正が提案されているが、災害時、町民の安全を守る事ができるのか。

町長 現在の団員数を減らすわけではない。団長、幹部の方々と打ち合わせを重ねて理解を得た。条例改正をすれば350万円くらいの負担軽減になる。消防団員には何の不利も起こらない。

加藤木 某組織に対し「兼業兼職の禁止に当たるのではないか」など、メール等での個人名で中傷があったと聞いているが、これが団員減少の原因ではないのか。
町長 定数改正は再検討すべきだ。

町長 定数削減は、消防団幹部の方にも同意をいただき提案している。

加藤木 東日本大震災時は下水管路の低い場所、汚水が溢れたと聞いている。石塚地区など住宅密集地は深刻だ。マンホールトイレなどの準備状況を伺う。
下水道課長 本庁舎に5基設置されている。

加藤木 各地区災害時でも気持ちよく出来るようトイレ環境の整備を願う。

開発公社全般について

《町長》 ホロルの湯のさらなる利用促進と新会員の獲得がキャンペーンの目的だ

加藤木 大感謝祭キャンペーンの目的はなにか。
町長 さらになる利用促進と新会員の獲得が目的だ。

加藤木 大感謝祭とは利益の還元だ。一時的にお金を集めているとしか思えない。
入湯税5年間滞延問題は、職員に対する指導・処分はしたのか。

町長 正規の職員に対し賞与のカットをした。

加藤木 過去5年、毎月の入湯税の期限内納入はわずか数回だ。行政が100%出資している機関なので納期を厳守すべきだ。

加藤木 町内より町外の会員が数倍多い。町外の方に優遇還元し、経営が厳しいからと町が補填するのはおかしいのではないか。
町長 町外の方に優遇しているわけではない。おかしくはない。

加藤木 開発公社は大勢の方が働いている。職員の精神的、身体的健康、職場環境に留意され健全経営をお願いしたい。
町長 しつかり経営してまいりたい。

町長 しつかり経営してまいりたい。

